

4-2 伊豆半島付近の地震活動 (1992年11月25日～1993年2月8日)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity
(November 25, 1992—February 8, 1993)

東京大学地震研究所
地震予知移動観測室・地震予知観測室
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

第1図a)～e)は1992年11月25日～1993年2月8日の各期間における伊豆半島付近の地震活動を示す。第2図はこの期間の震央分布の時空間分布(南北投影)を示す。この期間の主な地震活動は、1991年4月10日頃から始まった銭洲海嶺での一連の活動の続きと、1993年1月10日～14日の伊豆半島東方沖(川奈崎沖)の群発活動である。

銭洲海嶺の活動は、海嶺全域にわたっており、延長200km以上にわたる広域性、すでに約2年間におよび長期的な継続性に加えてM5クラスのやや規模の大きな地震を含むという点が注目される。この期間における銭洲海嶺の主な地震(M>3.0)は次のようである(第3図a), b)参照)。

1992年

- 1) 11月25日, 10時31分, M3.3, h 10.8km (銭洲付近)
- 2) 11月30日, 8時4分, M3.0, h 7.0km (新島北岸)
- 3) 11月30日, 23時47分, M3.1, h 7.5km (新島北岸)
- 4) 12月26日, 03時13分, M3.4, h 10km以浅 (銭洲付近)
- 5) 12月31日, 10時00分, M3.0, h 10km以浅 (銭洲沖海山付近)

1993年

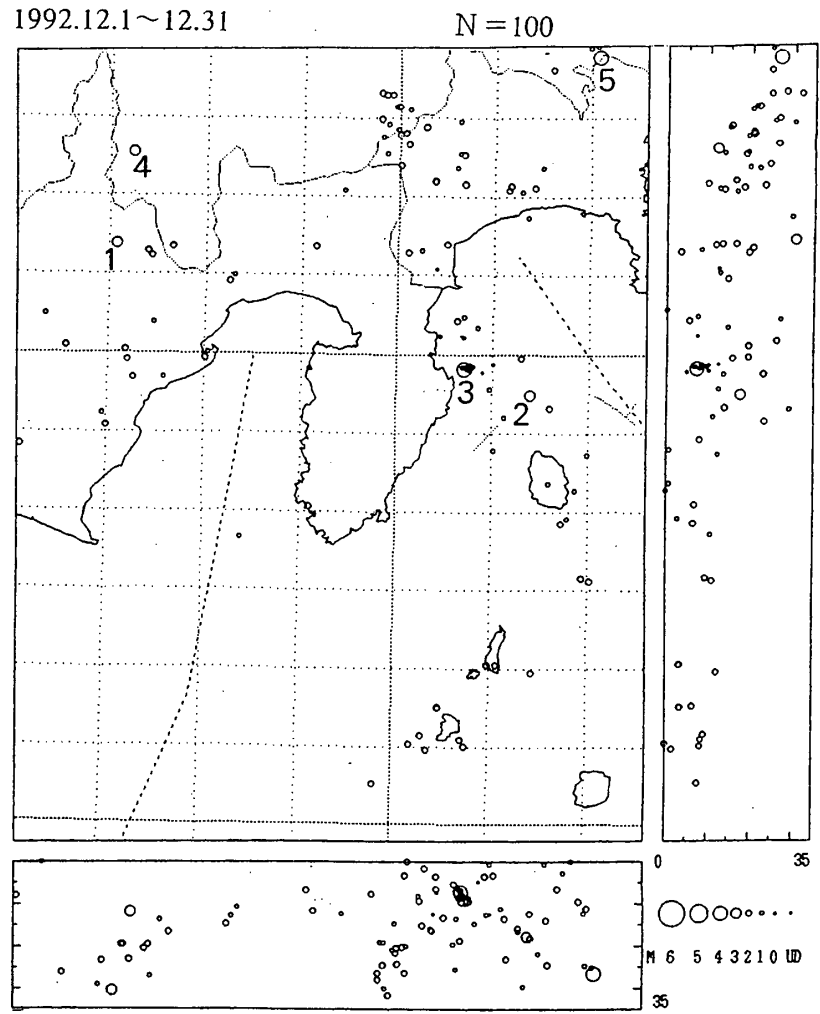
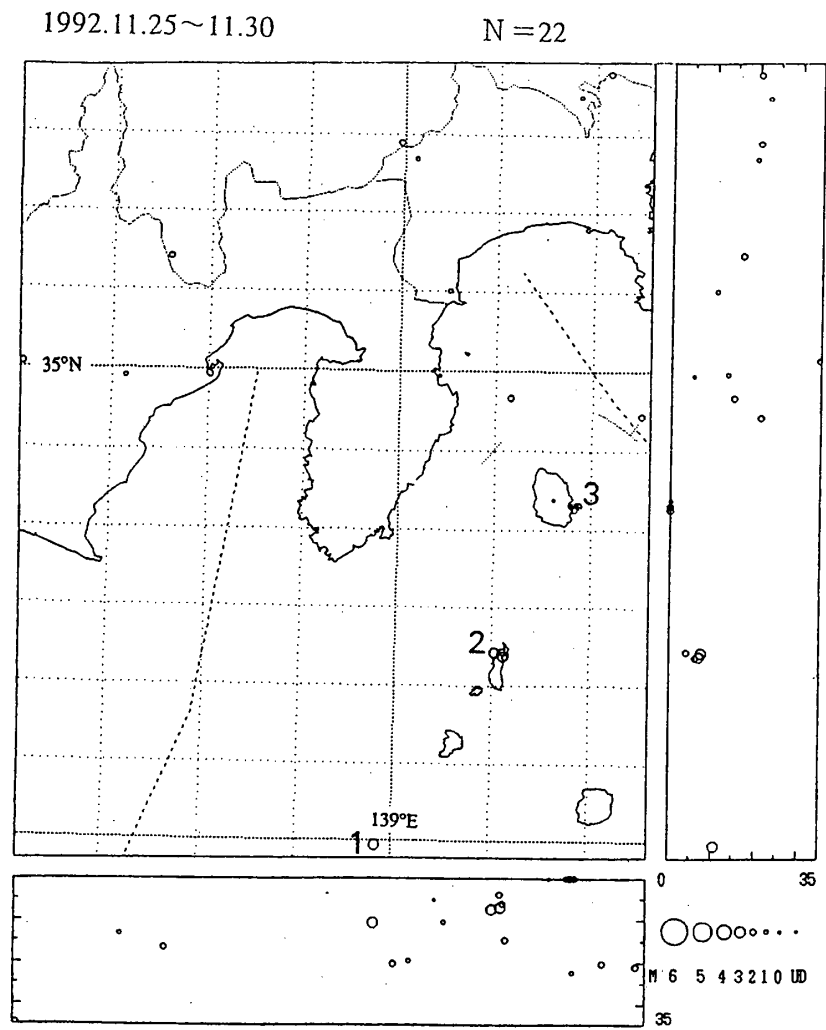
- 6) 1月5日, 01時13分, M3.2, h 10km以浅 (西七島海嶺)
- 7) 1月12日, 01時34分, M3.7, h 9.7km (新島中部西岸)
- 8) 1月12日, 01時46分, M3.1, h 5.1km (新島中部西岸)
- 9) 1月12日, 01時48分, M3.4, h 5.2km (新島中部西岸)
- 10) 1月12日, 03時55分, M3.2, h 10km以浅 (神津島北方沖)
- 11) 1月19日, 04時44分, M3.4, h 10km以浅 (銭洲付近)

これらの活動の中で1月12日を中心とした活動は1月10日～14日の伊豆半島東方沖群発地震と連動した。なお第4図に1992年1月1日～12月31日の新島, 神津島付近の震源分布を示す。なお最近の新島, 神津島付近および銭洲海嶺の地震活動については、別項「銭洲海嶺の地震活動と広域地震活動との関係について」を参照されたい。

伊豆半島東方沖では、1992年12月6日、伊豆大島北方沖、相模トラフ付近(フィリピン海プレート側)でM3.2, h 17.7kmの地震が発生し、それに引き続いて12月10日, 18時09分, M4.1, h 7.2kmの地震が発生した。さらに川奈崎沖で、1993年1月10日2時頃から群発地震が始まった。この活動に伴う1月10日～16日の各日の震源分布を、第5図a)～h)に示す。また1993年1月1日～2月8日

の震源分布を第1図c), d)に示す。最大地震は1月10日17時51分, h 9.3km, M3.8および14日13時45分, h 10.7km, M3.8の地震であった。この群発活動は1991年12月24日～1992年1月3日以来の活動である。今回の活動は震源の深さが8～11kmと3～4 kmの範囲に集中し, その間4～8 kmの深さの活動が著しく低調であった。なお今回の川奈崎沖の群発活動については, 別項「1993年1月, 伊豆東方沖群発地震活動の特性について」を参照されたい。

また1月24日には, 静岡県焼津付近でM 3以下の地震約30ヶを伴う群発地震が発生した。

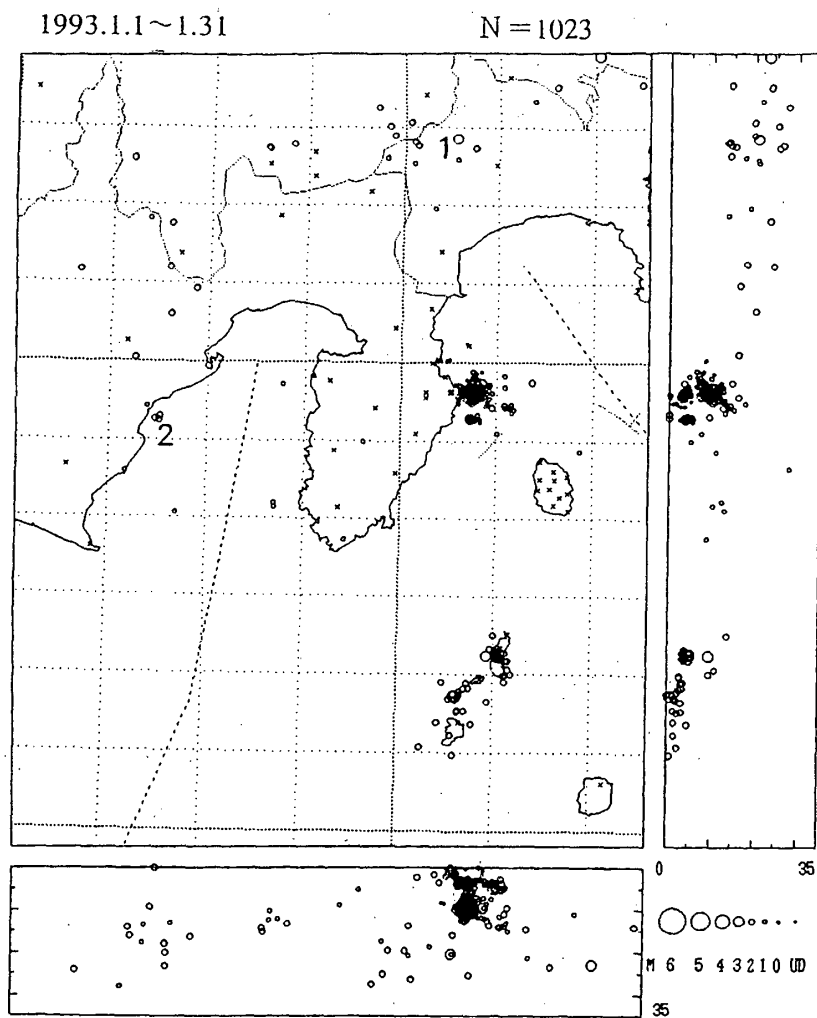


a 1992年11月25日～11月30日の震源分布図

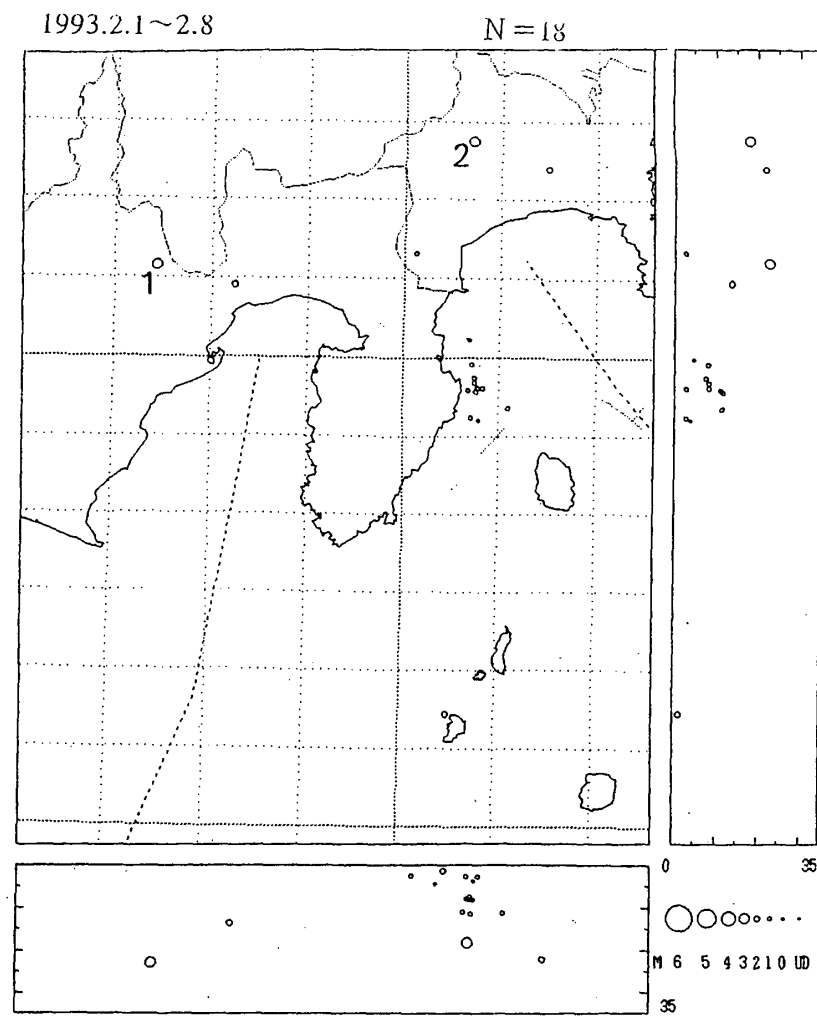
b 1992年12月1日～12月31日の震源分布図

第1図 a)～e) 1992年11月25日～1993年2月8日の各期間における伊豆半島付近の震源分布

Fig.1 a)-e) Hypocentral Distribution near Izu Peninsula for respective periods of November 25,1992–February 8,1993.



c 1993年1月1日~1月31日の震源分布図



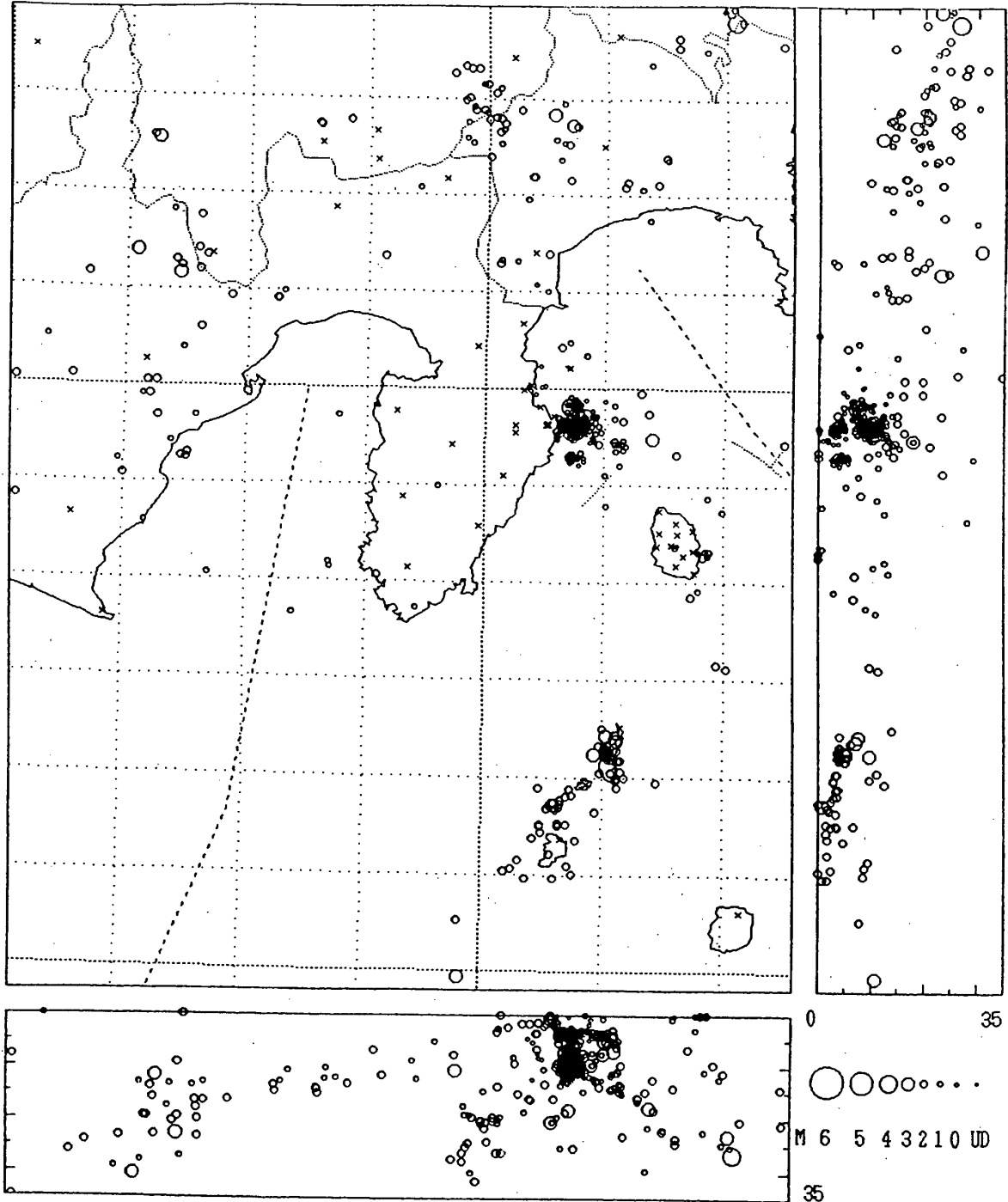
d 1993年2月1日~2月8日の震源分布図

第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

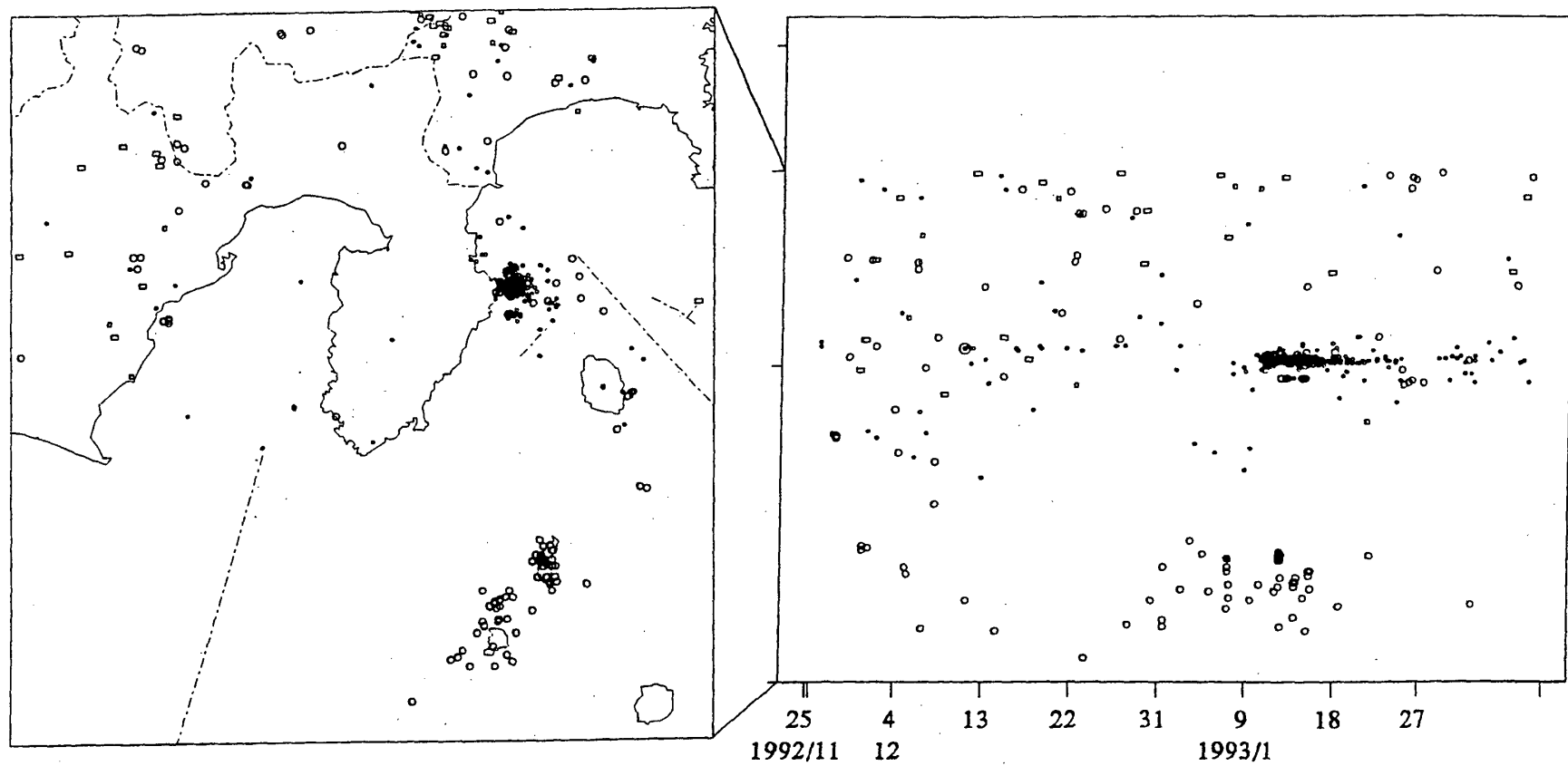
1992.11.25~1993.2.8

N = 1163



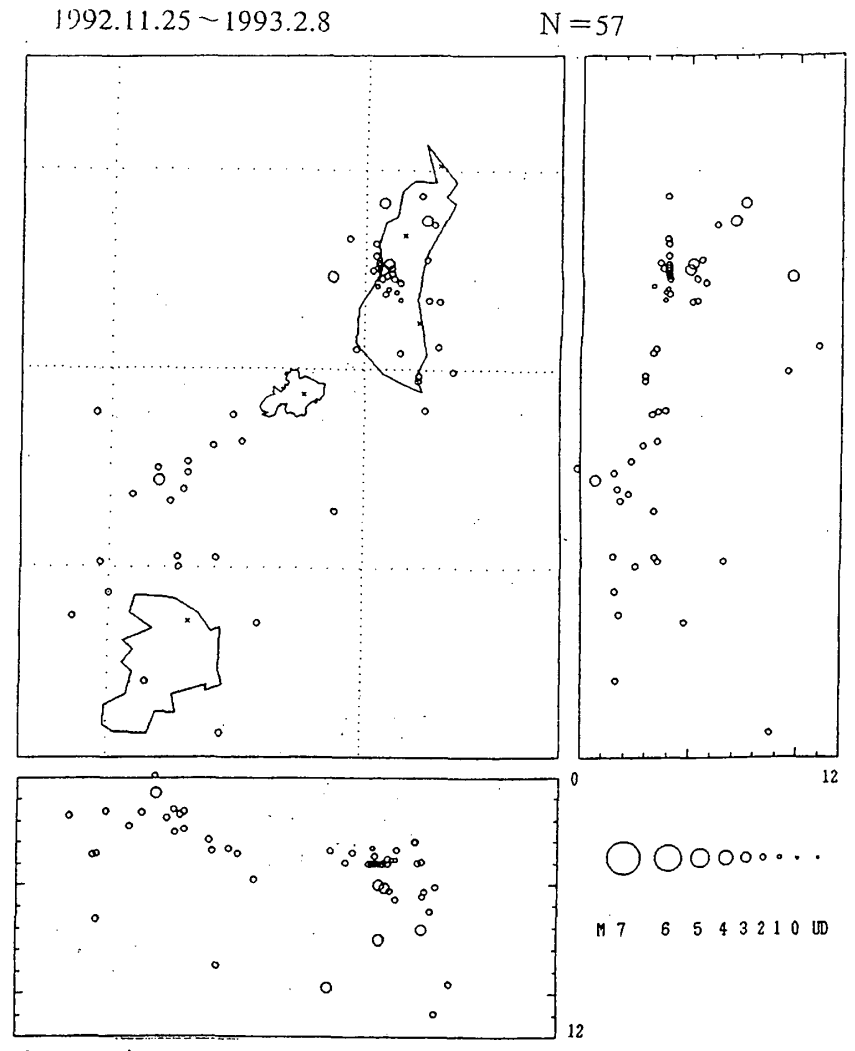
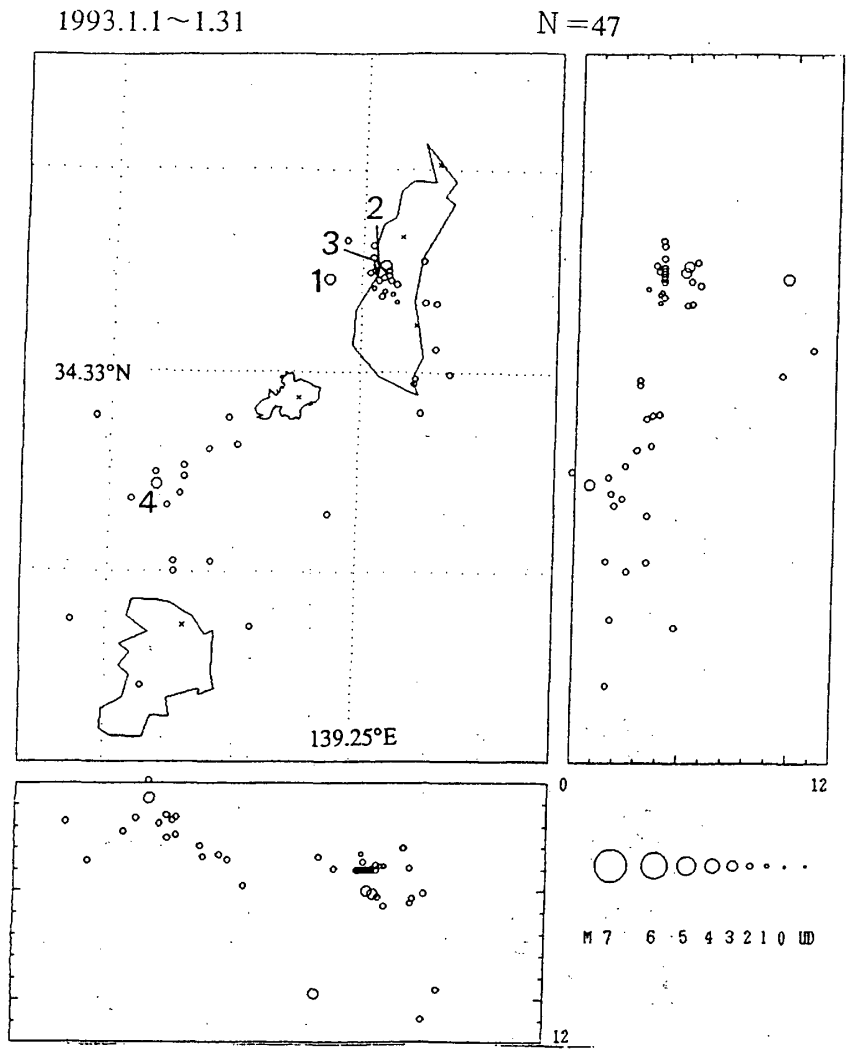
第1図 つづき

Fig. (Continued)



第2図 震央の時空間分布 (南北投影)

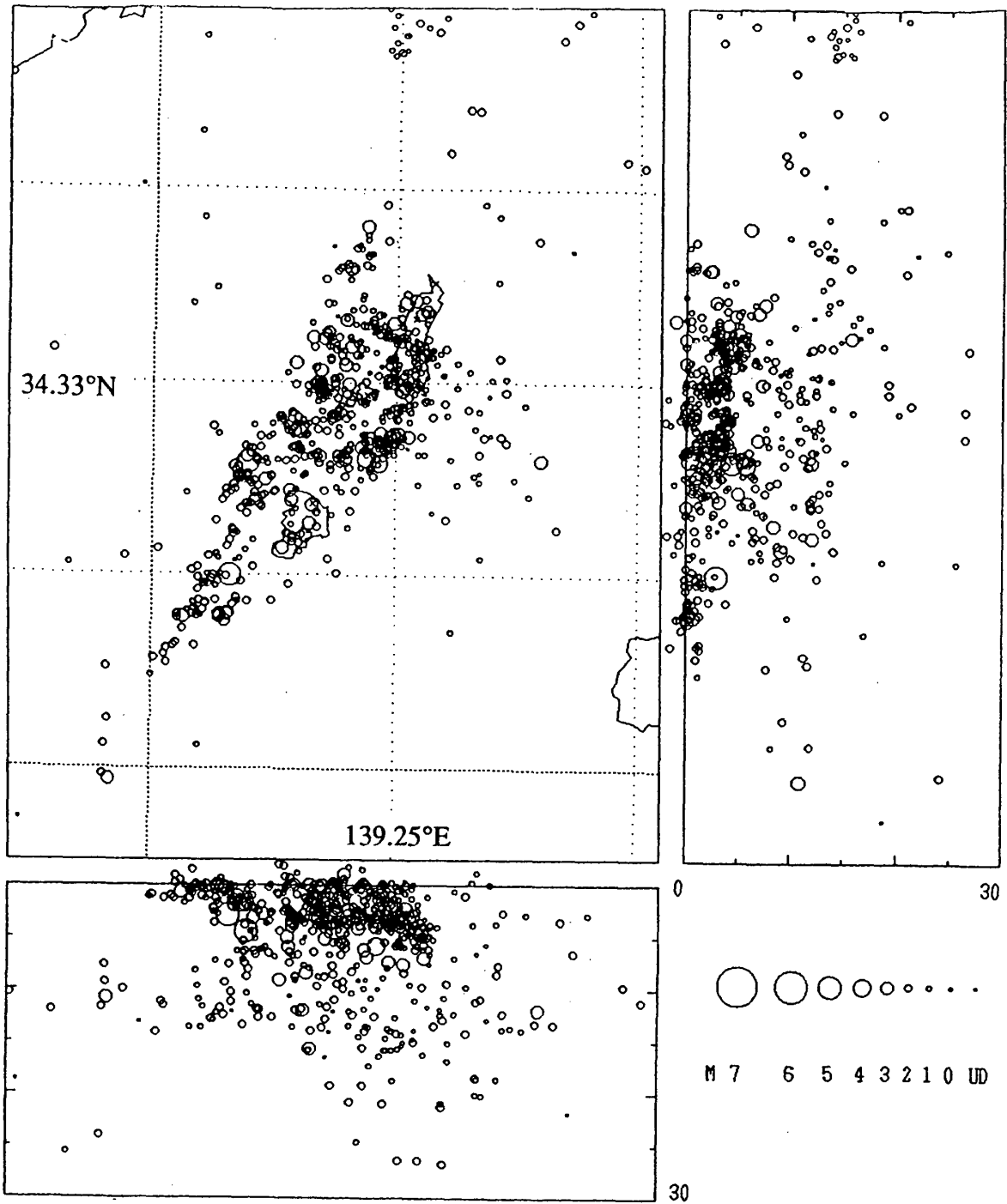
Fig.2 Time-Space Distribution of Epicenters (projected on S-N direction)



a 1993年1月1日~1月31日の新島、神津島付近の震源分布図

b 1992年11月25日~1993年2月8日の新島、神津島付近の震源分布図

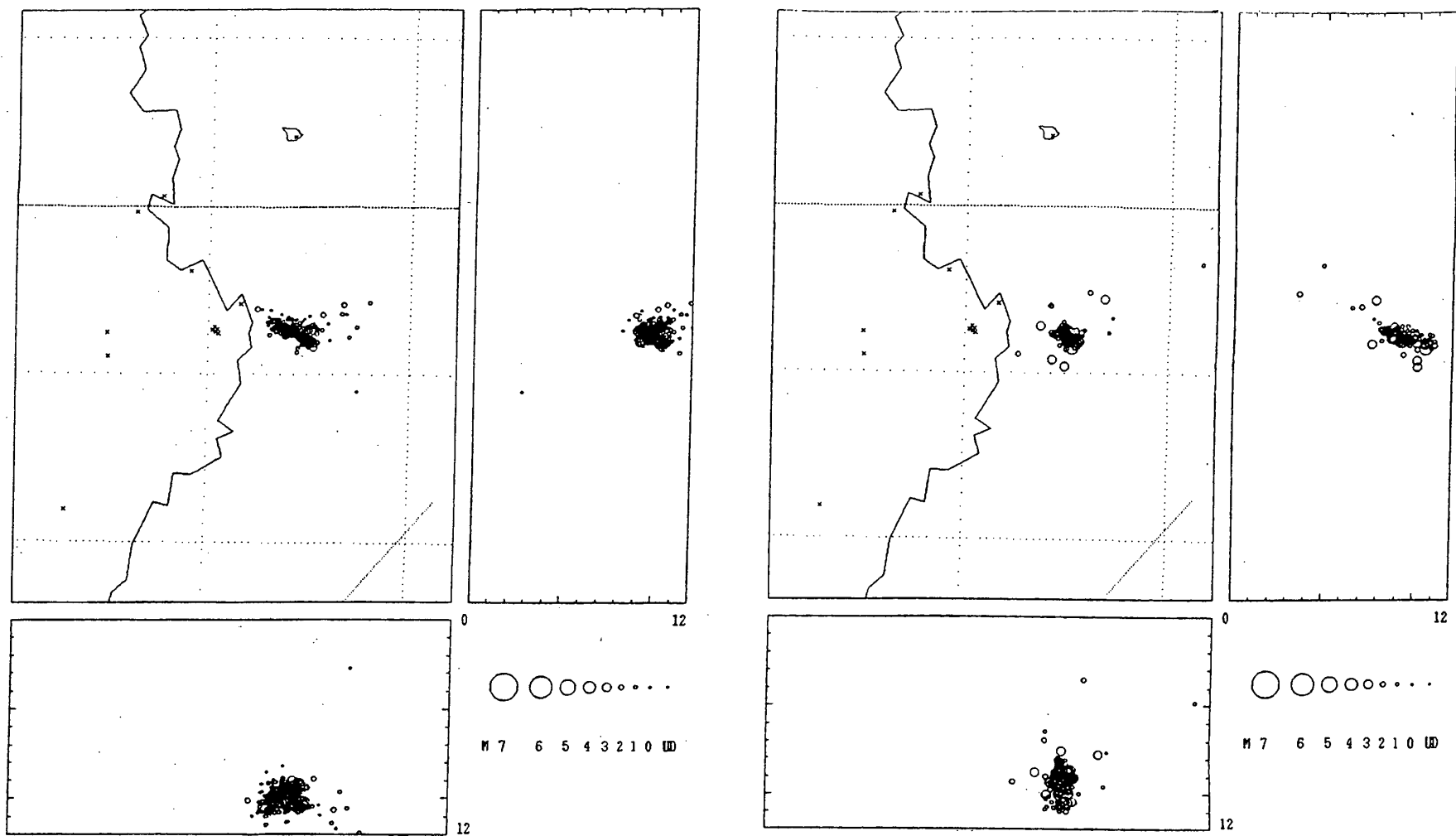
第3図 a)~b) 新島、神津島付近の震源分布
 Fig.3 a)~b) Hypocentral Distribution near Niijima and Kozushima



1992年1月1日～12月31日の新島、神津島の震源分布図

第4図 1992年1～12月の新島、神津島の震源分布

Fig.4 Hypocentral Distribution near Niijima Kozushima (January–December, 1992)

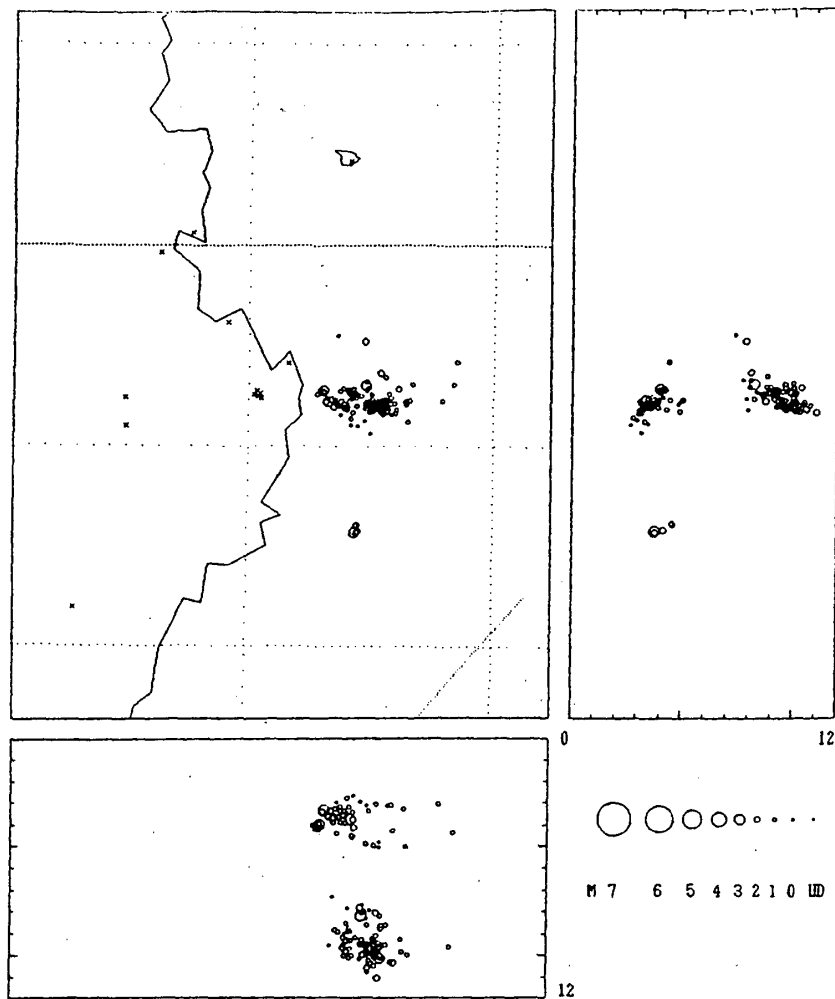


a 1993年1月10日00h00m~23h59mの震源分布図

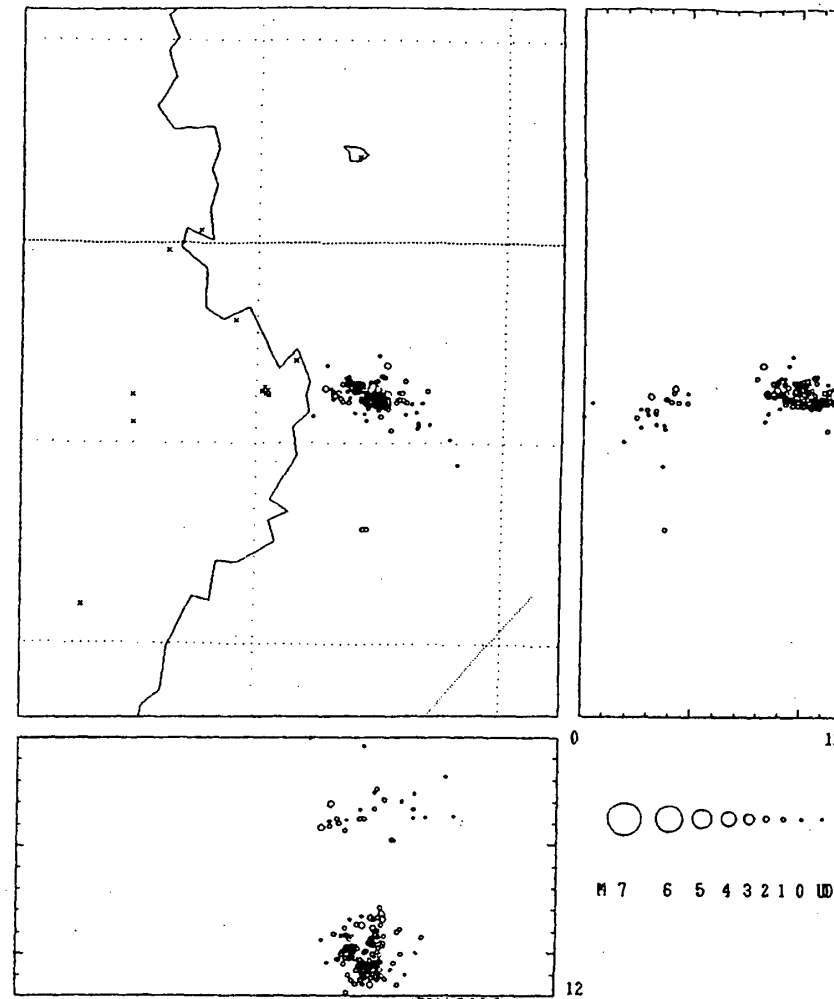
b 1993年1月11日00h00m~23h59mの震源分布図

第5図 a)~h) 伊豆半島東方沖の震源分布 (1993年1月1日~2月8日)

Fig.5 a)-h) Hypocentral Distribution off the East Coast of the Izu Peninsula (January 1-February 8, 1993)



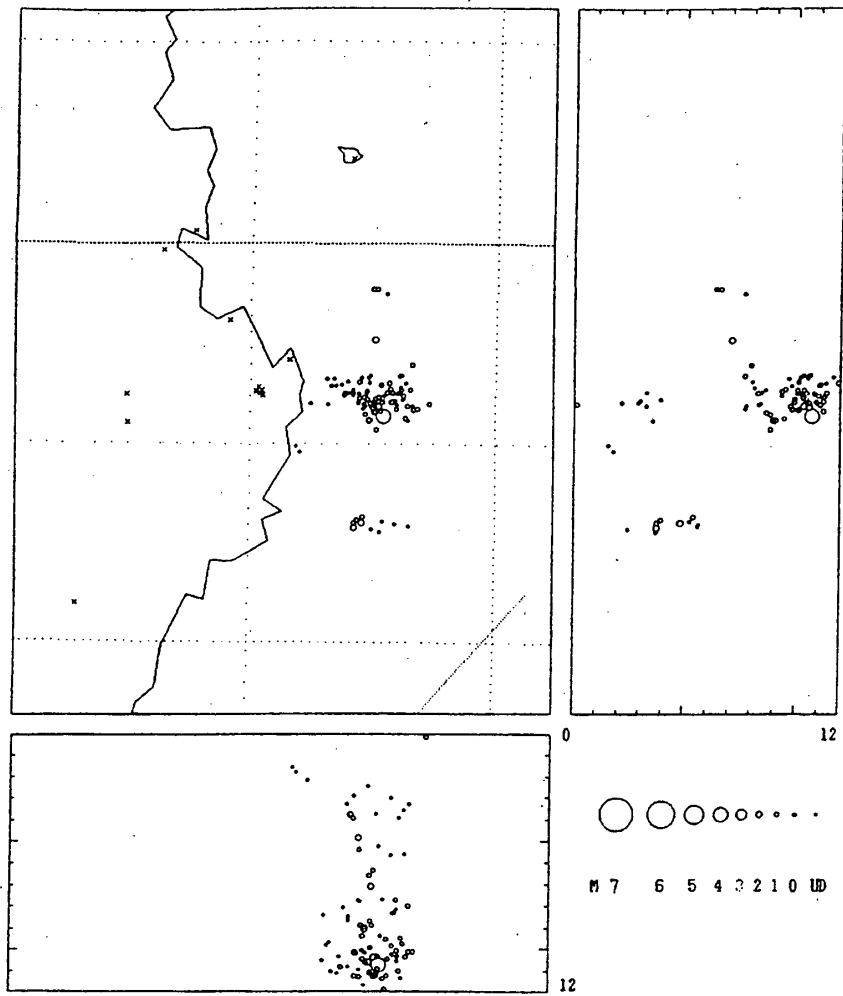
c 1993年1月12日00 h 00m ~ 23 h 59mの震源分布図



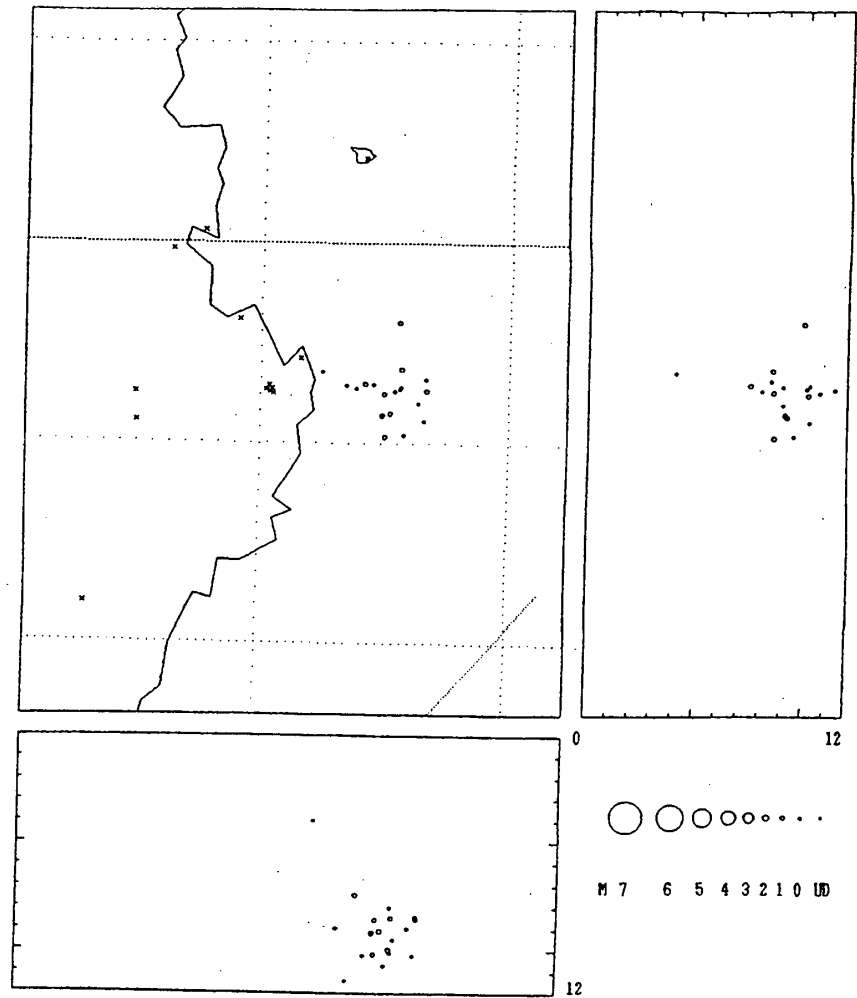
d 1993年1月13日00 h 00m ~ 23 h 59mの震源分布図

第5図 つづき

Fig.5 (Continued)



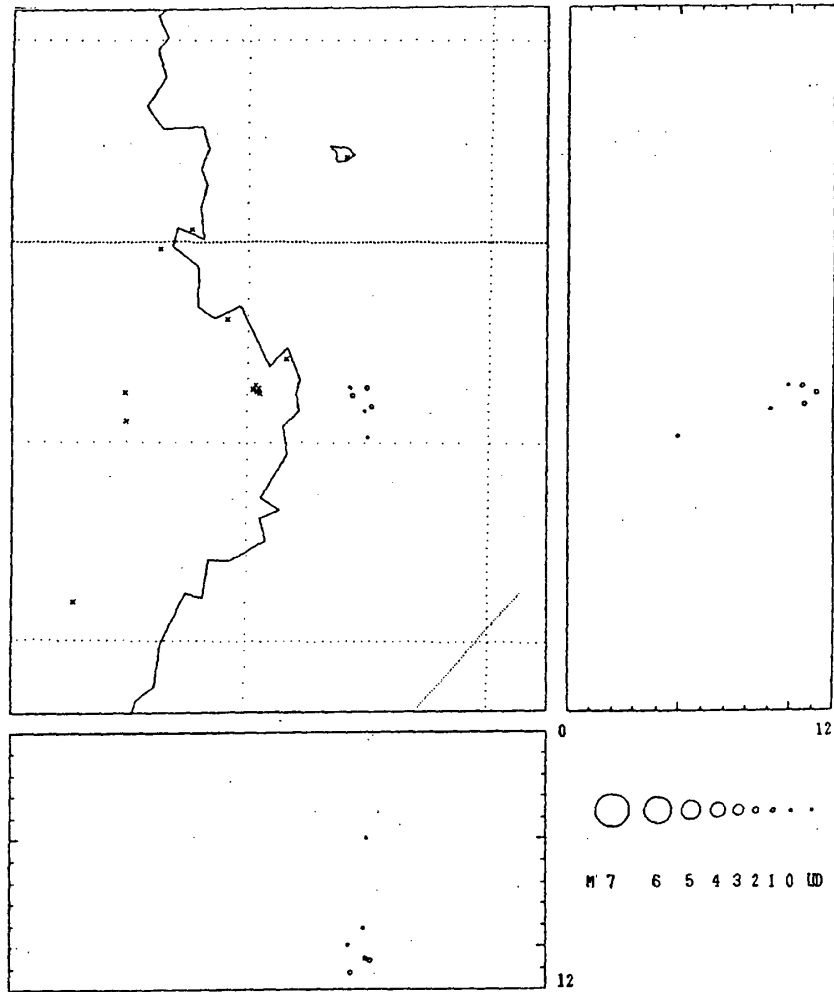
e 1993年1月14日00 h 00m ~ 23 h 59mの震源分布図



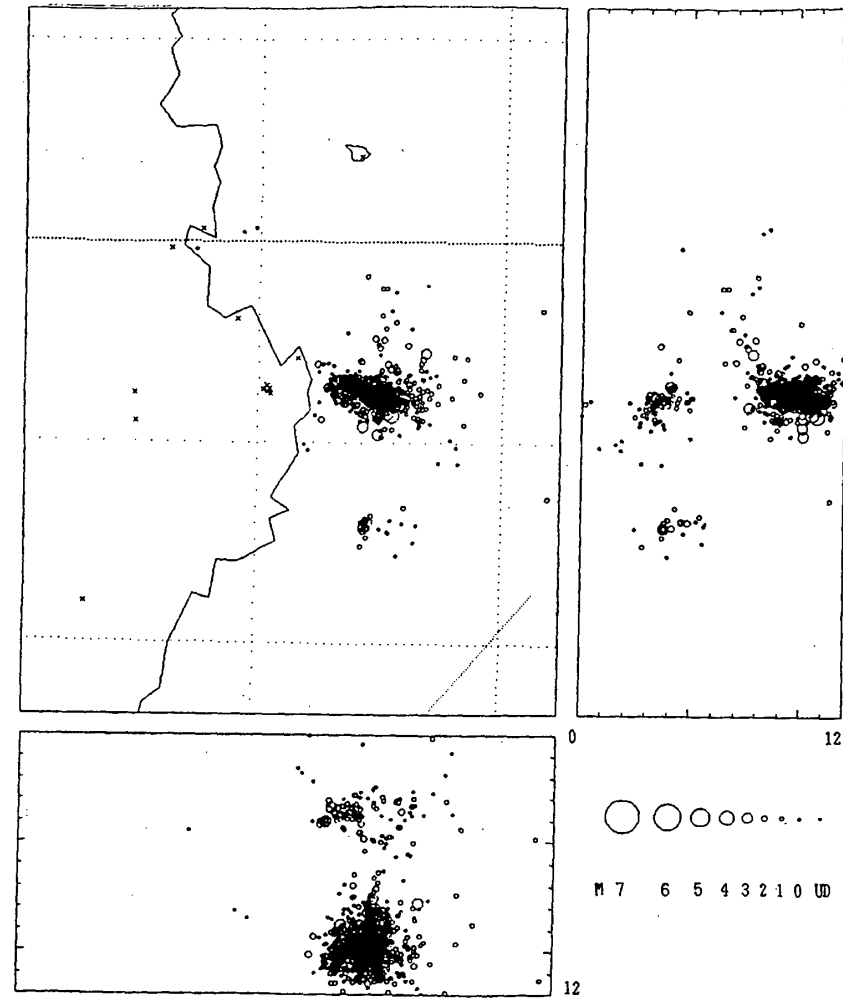
f 1993年1月15日00 h 00m ~ 23 h 59mの震源分布図

第5図 つづき

Fig.5 (Continued)



9 1993年1月16日00 h 00m ~ 23 h 59mの震源分布図



h 1993年1月1日~2月8日の震源分布図 (D = 0 km ~ 12 km)

第5図 つづき
Fig.5 (Continued)